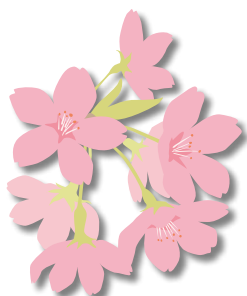


## りとにゅーす

No.67 2013.4.1

図書館の情報を  
携帯でチェック!!編集・発行 岡山理科大学図書館  
〒700-0005 岡山市北区理大町1-1  
<http://www.lib.ous.ac.jp>

## 図書館での文献検索

生物地球学部

学部長 星野 卓二



新入生の皆様、入学おめでとうございます。岡山理科大学の図書館は本館が11号館に、分館が21号館と10号館にあります。本館と分館に分かれています。大学のホームページから簡単に検索でき、さらに収録されている場所、現在貸し出し中かどうか、本の表紙の写真まで見ることができます。新入生の皆さんは、是非早めに図書館のホームページを開き検索のしやすさを実感してください。

昨年の4月から岡山理科大学に第4番目の学部として生物地球学部が発足しました。生物地球学部ではフィールドワークによる実習が多いのが特徴です。植物学におけるフィールドワークは、野外に出かけ植物の採集、植物の分布、生態を調査します。

日本における植物の調査は黒船の来航と関連があることがわかりました。米国のペリー提督が率いる黒船艦隊が江戸時代の末期に日本の開国を促すために浦賀や下田に来航しました。しかし、黒船が沖縄、鹿児島湾、伊豆下田、横浜、函館を訪れた際に日本各地で植物採集を行い多くの植物標本を持ち帰ったことはあまり知られていません。この概要は小山鐵夫著「黒船が持ち帰った植物たち」の中で、日本で採集された植物標本の写真や黒船の日本での植物採集ルートが簡単に紹介されています。採集した植物標本はすべてハーバード大学に運ばれ、当時の植物学の権威エイサ・グレイ教授により研究され、100種近い日本の新種が発表され

ました。エイサ・グレイは日本の植物に大変興味を持ち、北米東部と日本の植物相がよく似ていることを初めて明らかにしました。

フィールドで採集した植物の種名を調べる作業は、野外調査で最も基本的な作業で重要です。その過程で、今まで発見されていない新しい種、つまり新種が見つかることもあります。新種であるかどうかをはっきりさせるためには、最初にどこで発見されたか、どの標本をもとに名前が付けられたかを調べる必要があります。これらの文献は、出版されたのが150年以上前であり入手が困難です。植物の分類を研究するためには、古い文献が非常に重要となります。これらの文献を個人で保有するのは不可能であり、図書館を利用することになります。図書館の利用は、自分が調べたい書籍を瞬時に手にとって見ることができ、書籍に出てくる原著論文は、岡山理科大学の図書館にない場合でも国内の図書館などに依頼できますので容易に手に入れることができます。

大学の図書館は個人の教養を高めるための書籍を収蔵しているだけでなく、このように卒業研究や論文作成の際にも重要な役割を担っています。新入生の皆さんは、本の中で紹介されている文献から原著論文までたどることができることを覚えておいてください。そして、レポートを作成するときや講義中に生じた疑問の解決に是非図書館を利用してください。